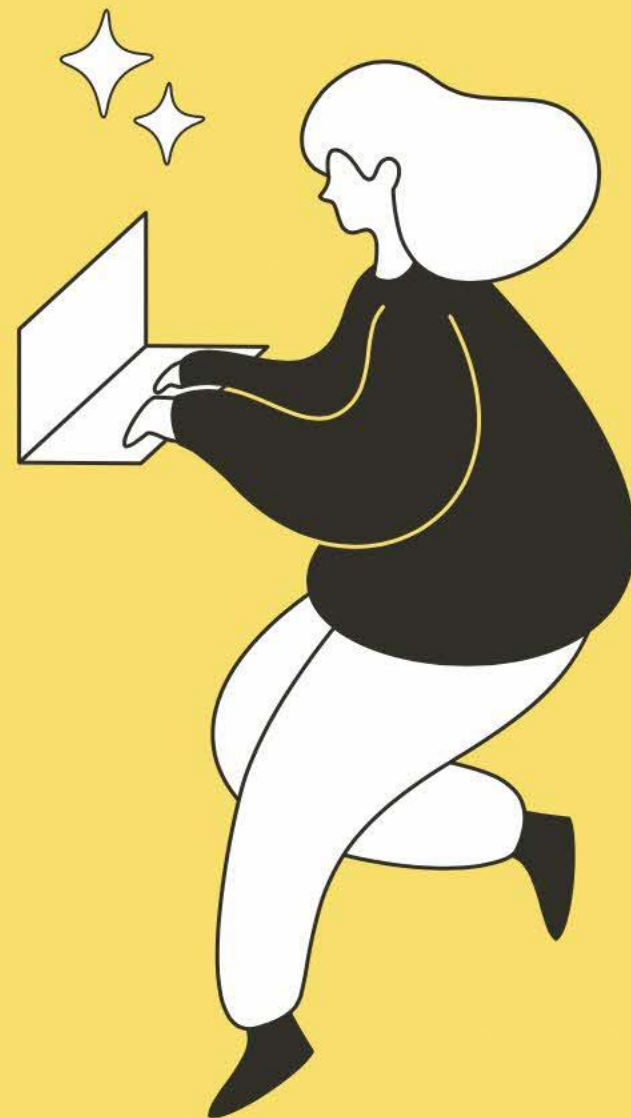


# 二十歳の集いアンケート

---

## 調査報告



Contents

# 目次

---

0 1. 概要

0 2. アンケート結果



0 1

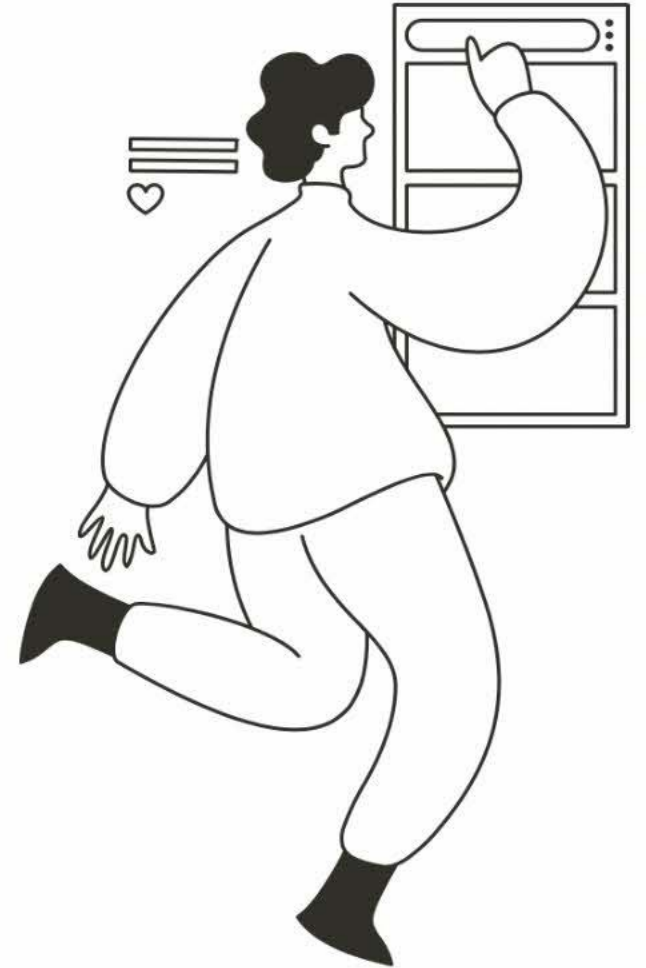
---

# 概要



高森町で義務教育を受けてきた、二十歳を迎えた方を対象に意見を伺い、過去12年間、高森町新教育プランのもと、教育改革を図ってきたことの成果や課題を明らかにするとともに、より良い教育環境を整えるための参考とすることを目的としている。

今回のアンケートは令和7年二十歳の集い出席者を対象におこないました。（出席者45名 全員回答）



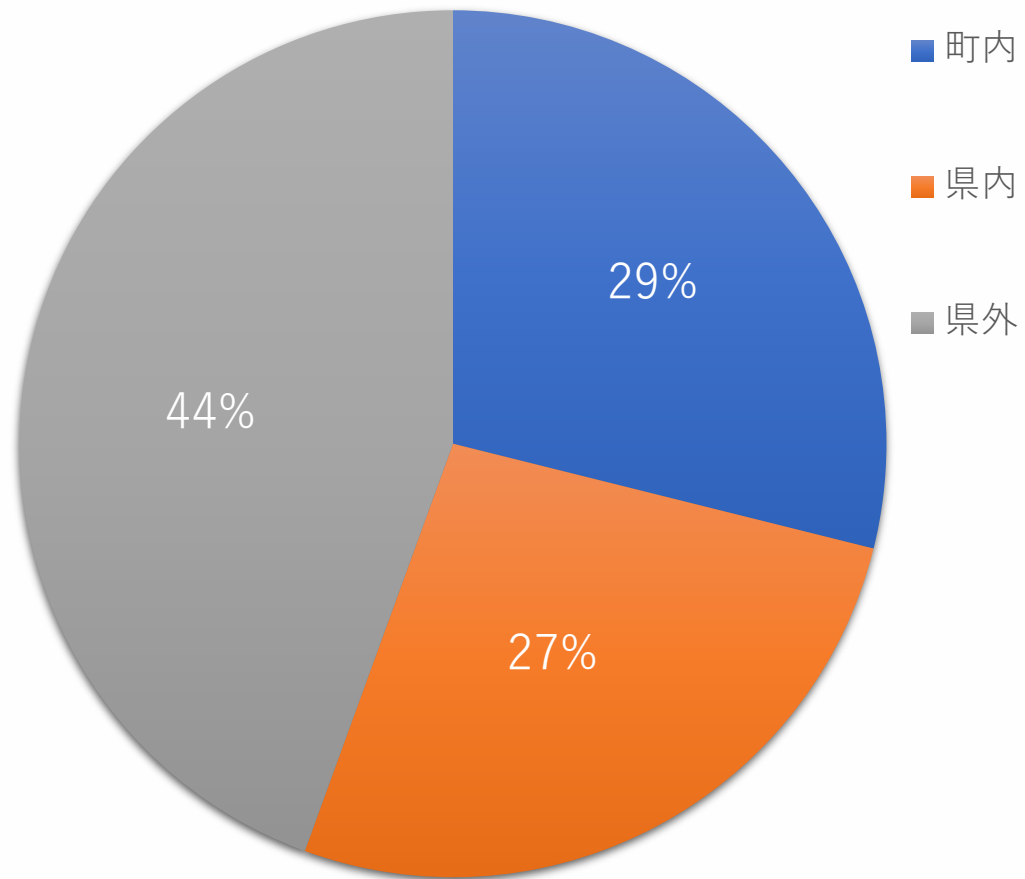
0 2

---

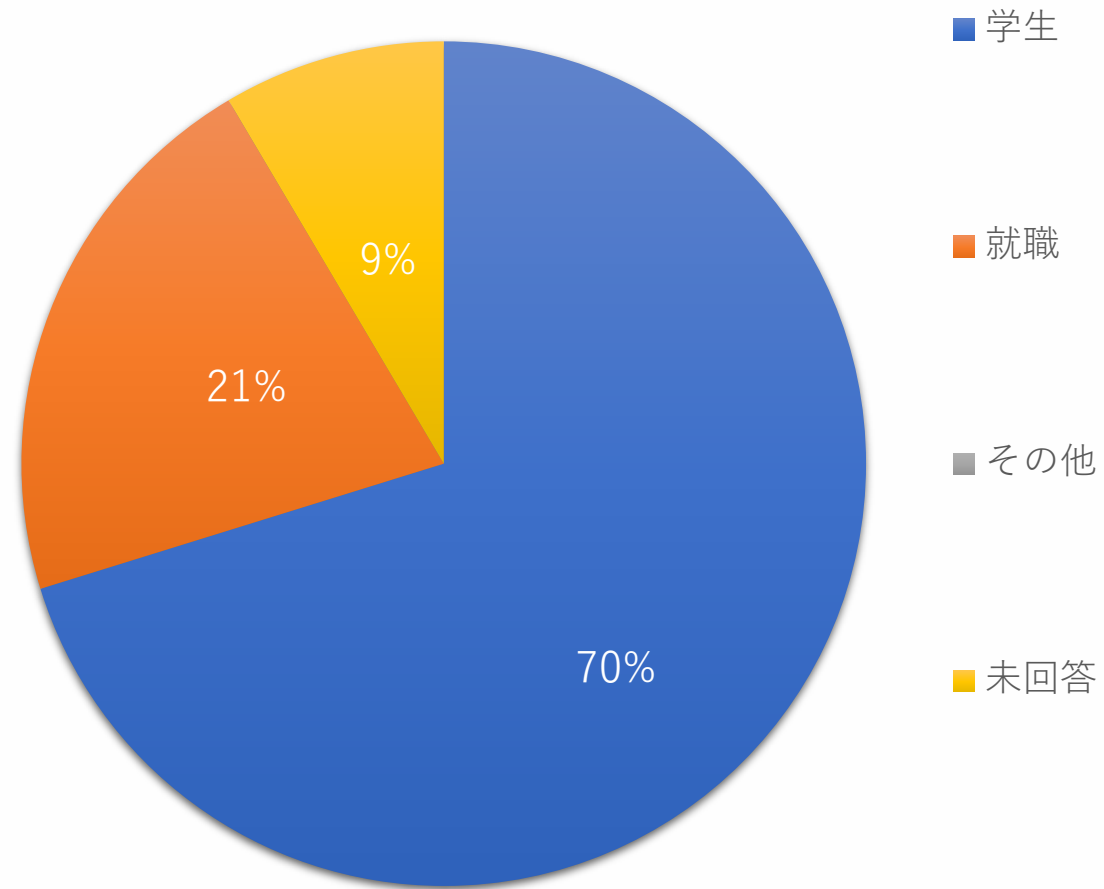
# アンケート 結果



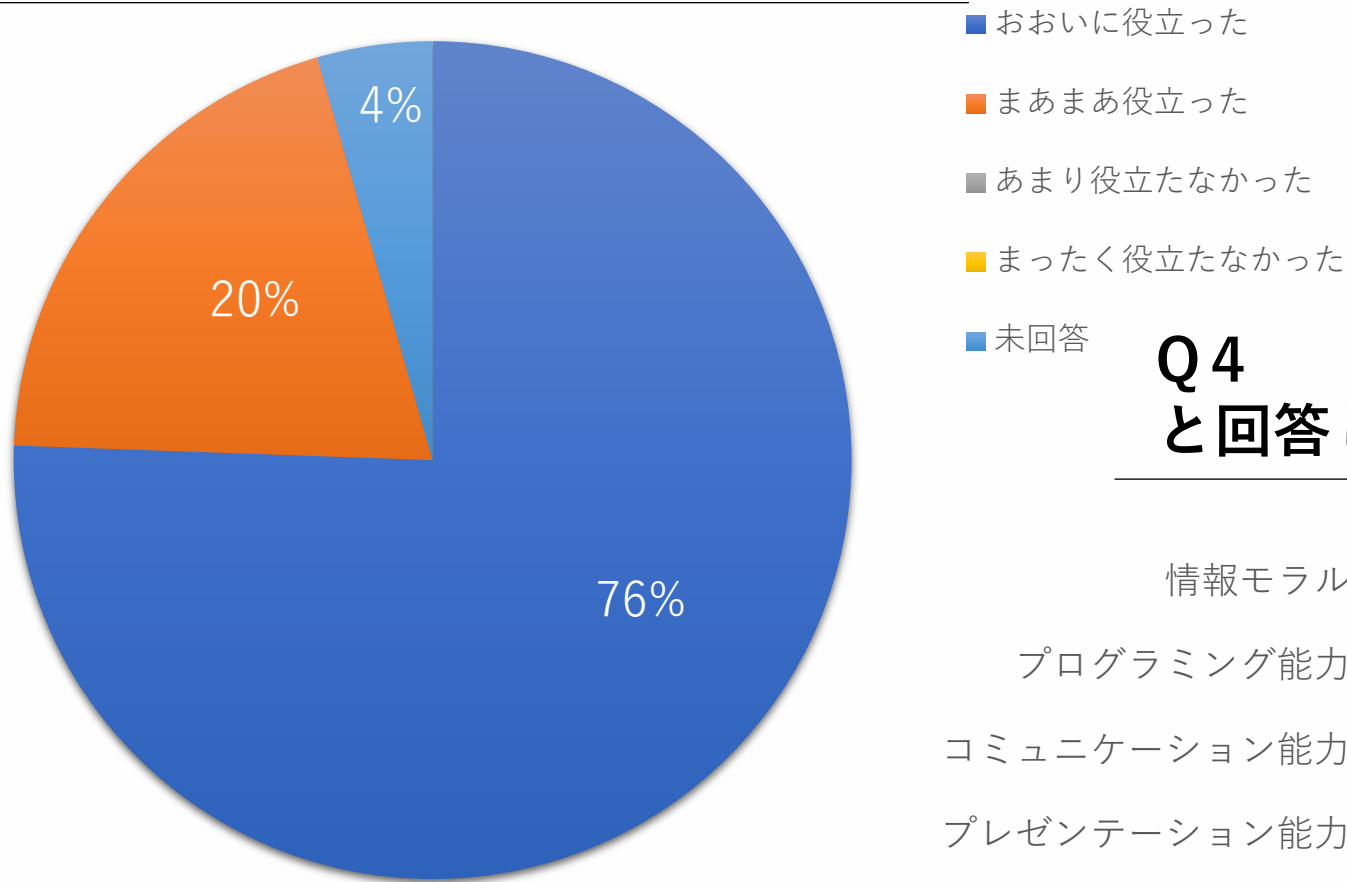
## Q 1 お住いの地域



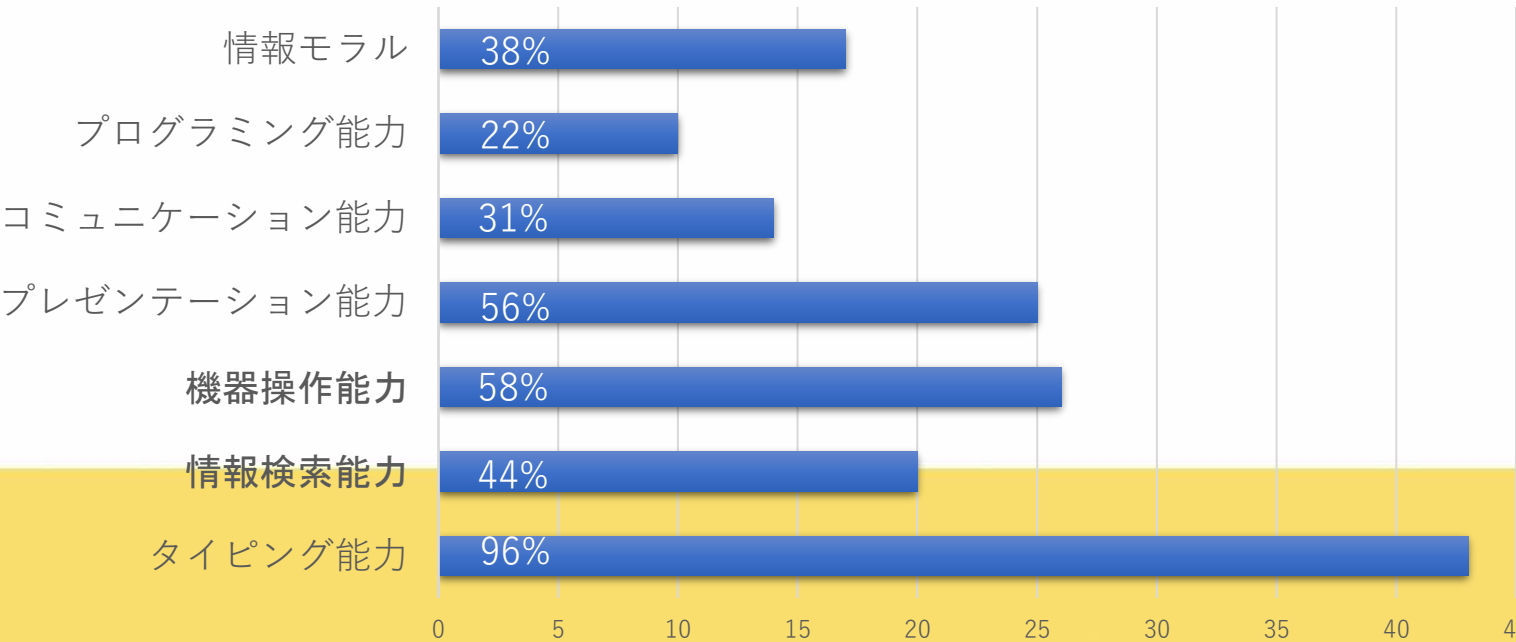
## Q 2 現在の状況



### Q3 「ICT教育」を受けてきて、 これまでに役立ったことはあるか



### Q4 「おおいに役立った」「まあまあ役立った」と回答した人はどのようなことか



## Q5 「ICT教育」を受けて役に立ったエピソードは？（No.1）

---

### タイピング

- ・ 現在情報系のことを大学で学んでおり、とても役に立っています。情報の教員を目指している。
- ・ タイピング検定をさせてもらえたことで助かっています。
- ・ タイピング検定やプレゼンテーションの経験、パソコンの知識も身についた。
- ・ パソコンを使う業務の際すぐに作業を終えることができた。
- ・ 大学の授業でPCを使う際やプレゼン発表の際にタイピングができる、かつPowerPointもスムーズに行えている。
- ・ 情報系の授業で、タイピングやマイクロソフトの使い方が分かるので助かっている。
- ・ 周りの人より早くタイピングする事が出来る。
- ・ タイピングが速いことで大学での授業でも役立ったと感じた。
- ・ タイピング能力やコンピュータを扱う能力が高くなったことにより学生でのレポート作成に役立った。
- ・ タイピングに触れることで高校からの学習に遅れを取らなかった。
- ・ バイトでタイピングを披露した。
- ・ タイピングが周りより速くできる。
- ・ タイピングが速く情報を得るスピードが早かったため委員長を務めた。
- ・ タイピング検定で役に立った。
- ・ 大学で情報系の勉強をしているが、タイピング能力は大いに役にたっているし、プログラミングなどの基礎ができていたのありがたい。



## Q5 「ICT教育」を受けて役に立ったエピソードは？（No.2）

---

### 情報検索

- ・ ICT機器を使うことでコロナのような非常事態に授業ができたり、病気や怪我で授業に出られない時にとっても役立つ道具。
- ・ ICT機器を使いこなせるので就職先でも役に立つことができた。
- ・ 中学生の頃からパソコンに触れていたことで高校、大学での専門的な内容をスムーズに学習できた。
- ・ ICT機器を幼い頃から学んでいたおかげで、基礎的な知識がしっかり身についており、自分の為になった。

### プレゼン

- ・ プレゼン発表や資料作成の際に小学生から人前に立って話すことやプレゼン能力を身につけてきたことが専門学校でも役に立った。
- ・ プレゼンテーションなどでパワポのまとめ方を具体的に詳しく知ることができた。
- ・ ICT機器を使いこなせることで、高校や大学でのプレゼンテーション能力やタイピング能力が高いことがわかった。
- ・ 大学でのレポート制作やプレゼン制作
- ・ 大学の授業のプレゼン大会で一位になりました！
- ・ プレゼンテーションやコミュニケーション能力が大学や就職に役に立った。
- ・ 大学入試にプレゼン能力が役に立った。

## Q5 「ICT教育」を受けて役に立ったエピソードは？（No.3）

---

### 機器操作

- ・機械全般触れることが苦手だったが、ICT機器を使っていたおかげで、苦手意識がなくなった。
- ・大学進学時に抵抗なくPCを活用することが出来た。
- ・専門学校での資料作り等に役に立った。
- ・高校で習うものを中学の段階で扱うことで、復習のような感覚で楽に楽しく出来た。
- ・高校での学習に遅れを取らなかった。
- ・大学で分からない人に教えることができた。
- ・大学でのレポート作成に大いに役立っている。
- ・高校でずば抜けたパソコン能力を発揮できた。
- ・資格取得が楽にできた。
- ・高校で問題なくパソコンを使うことができた。
- ・パソコンを扱えるので大学で全く困らなかった。
- ・仕事でパワーポイントを使う時に役立つ。
- ・学校で学んでいく中で、パソコンを使用する機会が多く、高森町が取り入れてくださっているICTが役立っている。

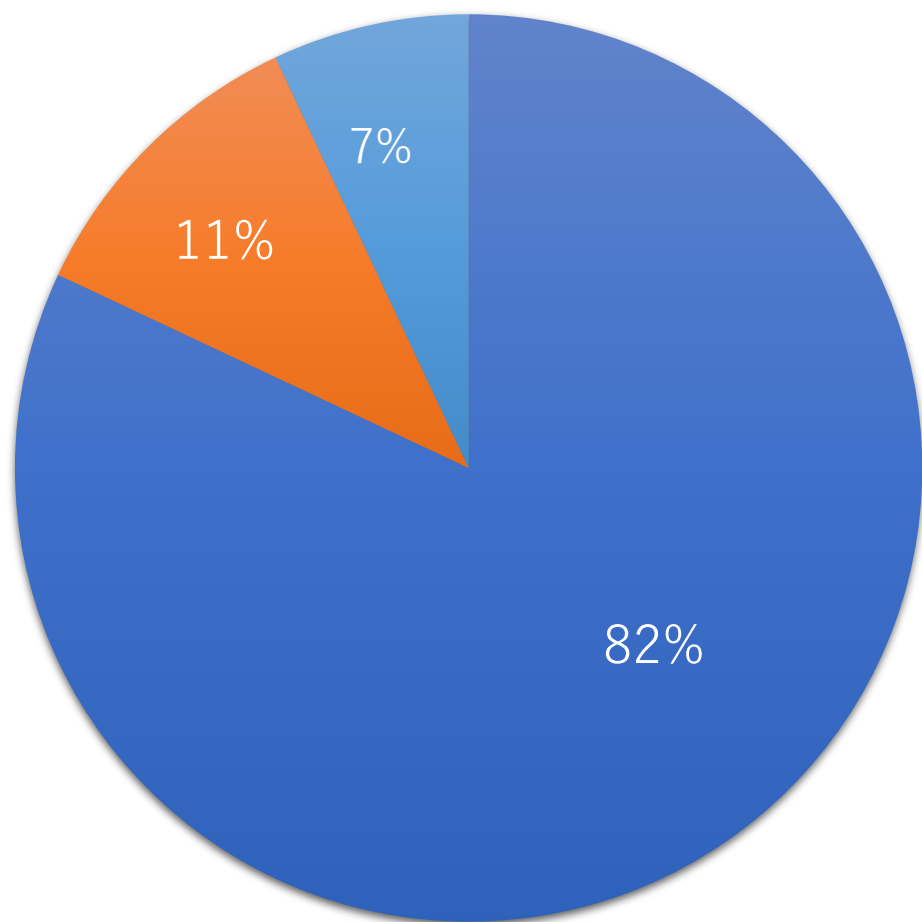
## Q6 高森ふるさと学（総合的な学習の時間） で印象に残っている学習内容を教えてください。

---

- ・プレゼン作成
- ・文化祭準備
- ・プログラミング
- ・田植え
- ・子ども議会で議長をさせてもらった
- ・ブルービーの観察
- ・起業体験
- ・スクラッチの何か
- ・子ども議会のプレゼンテーション作り
- ・中学校文化祭の販売
- ・職場体験
- ・風まるノート
- ・ふるさと納税について
- ・みさを大豆を育てたこと



## Q 7 高森町で学び育ったことに誇りをもっていますか？



- とても誇りを持っている
- まあまあ誇りを持っている
- あまり誇りを持っていない
- まったく誇りを待っていない
- 未回答





## Q8 現在の小中学生が身につけておいた方がいいと思うことは？

---

- ・コミュニケーション能力
- ・タイピング
- ・英語力
- ・ICT教育
- ・情報の取捨選択能力
- ・プレゼンテーション力
- ・情報モラル
- ・インターネットリテラシー
- ・インターネットの扱い方
- ・運動能力を上げる
- ・礼儀とマナー
- ・数学

# 考察

## ◎下記全ての項目において**向上が見られた共通の要因**

- ・平成30年度には一人一台端末及びWi-Fi環境が全ての学校で整っていたこと。

### ①**タイピング能力の向上**については、下記のことが要因として考えられる。

- ・各学校、朝活動の時間にタイピングの時間を位置づけたり、校内タイピングコンテストを実施したりして、ホームポジションを意識したタイピング練習に取り組んでいたこと。
- ・学習に関係のあることに関しては、休み時間や家庭においても自由な活用を許可していたことにより、児童生徒が主体的にタイピング練習に取り組んだこと。
- ・タイピング検定試験への受検機会があることで、意欲的に取り組み、能力向上につながった。

### ②**コミュニケーション能力の向上**については、下記のことが要因として考えられる。

- ・課題解決型学習モデル「たかもり学習」を全教科で実践し、「も」の場面において伝え合う学習活動を位置づけてきたこと。
- ・平成27年度から文部科学省指定「遠隔教育」の実証研究を行ってきたことで、学級外の人との交流の機会を多く持てたこと。
- ・研究発表会を重ね、外部からの参加を得たことで、外部に対してわかりやすく説明する機会が多く与えられていたこと。

### ③**情報検索能力及び機器操作能力の向上**については、下記のことが要因として考えられる。

- ・学習に関係のあることに関しては、授業中のみならず休み時間や家庭においても自由な活用を許可していたことにより、児童生徒が主体的にWeb検索や機器操作をおこなっていたこと。
- ・授業において、個別に調べたり、グループで協働学習をしたりした結果、様々な能力の向上につながった。

# 考察

---

④**プレゼンテーション能力の向上**については、下記のことが要因として考えられる。

- ・高森町子ども議会における提案や、各学校における学習成果発表会等における外部への発表の機会が設けられていたこと。
- ・教職員自身が県内外において積極的に実践報告を行うことでプレゼンテーション能力が高まり、児童生徒及び他の教職員へと波及したこと。

⑤**プログラミングの向上**については、下記のことが要因として考えられる。

- ・小学校3年生以上の高森ふるさと学において、年間10～20時間のプログラミング学習の時間を位置づけて、各教科等と関連付けた取組ができていたこと。
- ・ICT支援員や大学生等、専門性を有するゲストティーチャーを招聘したことで、全ての児童生徒が学ぶ機会を設けられていたこと。

⑥**情報モラルの向上**については、下記のことが要因として考えられる。

- ・各教科等の年間計画に位置づけて計画的に学習できていたこと。
- ・閲覧履歴や使用時間等を教職員やICT支援員が定期的に確認することで、早期的な指導を行うことができたことや、ネット上のトラブル等を生きた教材として取り上げて学ぶ機会を設定できたこと。